

## V個性を育てる教育文化のまちづくり

### 1) 生涯学習社会の形成

#### 現 況

- ◇高齢化の進展、住民のライフスタイルや価値観が多様化する中で、人生を健康で楽しく過ごすためには、基礎学力を基に社会の変化に対応できるよう自らの意志で必要な知識や技術を習得することが求められています。
- ◇めまぐるしく変化する社会経済情勢に対応するためにも、仕事や日常生活のうえで新しい知識の習得が必要となっています。
- ◇少子化、核家族化等に伴い、家庭での教育力が低下するとともに、高齢化や地域の絆の希薄化により、家庭や地域で担ってきた子育てや介護をはじめとする福祉分野において公的支援のニーズが高まっています。
- ◇田口地区の町民図書館と津具地区のグリーンプラザ図書室の利用率は横ばいで推移していますが、相互利用のための蔵書のデータベース化や図書検索システムの導入などが望まれています。
- ◇田口地区と津具地区に屋内プールがありますが、利用者は限られているとともに、冬季の利用者が少ないことから、平成19年度より冬季(11月から3月)は休止しています。また、名倉の屋外プールについては老朽化が進んでおり、屋内プールと併せ今後の管理・運営について検討する必要があります。
- ◇ふれあい広場の全天候型施設は、テニス・ゲートボール等、幅広く利用されていますが、更なる利用促進を図る必要があります。
- ◇田口テニスコートは、コートの上の入れ替えを行いました。今後の管理・運営方法について検討する必要があります。
- ◇「完全学校週5日制」や「総合的な学習の時間」が定着化しましたが、子どもたちの学力低下が新たな問題となっています。また、近年、小学校から中学校を通じた「キャリア教育」の必要性が高まっており、小学校高学年でのモノづくり体験事業や中学校2年生での職場体験事業を実施しています。さらに、平成21年度から新学習指導要領が実施され子ども「生きる力」をより一層高めていくことが求められています。

#### 課 題

- ◇青少年の健全育成及び地域の教育力向上
- ◇多様なニーズに対応する学習や体験機会の創出
- ◇生涯学習に関する各種情報の提供
- ◇家庭、学校、地域社会の連携強化
- ◇図書検索システムの構築と特色ある図書館づくりの推進
- ◇屋内プールの利用促進及び名倉プールの維持・管理
- ◇社会教育・体育施設の整備充実
- ◇キャリア教育の推進

## ◆施策目標◆

項 目	現 状	目標 (H28)
生涯学習、文化講演会等参加者数	年356人	年380人
図書室利用者数 (田口、津具)	年6,958人	年7,200人
図書館の建設	—	平成26年度

## 施 策

### (1) 生涯学習まちづくり推進事業

○住民のニーズを把握し、教養的、趣味的な講座を中心に実施します。また、文化講演会も併せて開催し、社会問題、時事問題への意識向上に資するよう努めます。

(講座・講演等数 10種類)

○町主催の各種生涯学習事業や他の団体の事業の積極的な情報提供に努めます。

### (2) 図書検索システムの構築と特色ある図書館づくりの推進

○住民のニーズに応え、蔵書を充実するとともに、広域利用のためのネットワーク化の準備を進めます。併せて、バーコード化による効率的な検索システムを構築のためのデータベース化を進めます。

○図書館新設に合わせ継続実施している事業を充実するとともに、特色ある事業の導入を進めます。また、こうした事業推進のため図書館ボランティアの導入を検討します。

○「図書館だより」を継続発行します。(月1回発行)

### (3) 社会教育・体育施設の充実

○既存の体育施設については、適切な維持管理を行い、計画的な改修を進めます。

## 2) 学校教育の充実

### 現 況

◇平成23年度の児童・生徒数は355人で、平成18年度の429人から毎年10人程度減少しており、平成28年度には260人程度になると予想されます。

◇学校数は、中学校2校、小学校5校で清嶺小学校と田峯小学校は、複式の学級編成となっており、少人数での指導が難しい音楽や体育は、集合学習を実施しています。

◇危険校舎であった名倉小学校は、平成20年度から新しい校舎となり、その他の学校も平成22年度までに耐震補強を完了しました。また、田口小学校を始め施設・設備が老朽化しているため計画的な修繕が必要となっています。

◇設楽中学校と津具中学校は、平成16年度から愛知県立田口高等学校と中高一貫教育を行っていますが、生徒数の減少により、同校への進学者数が伸び悩んでいます。

◇社会経済情勢の変化により子どもを取り巻く環境は年々厳しくなっており、子どもを巻き込んだ事件が多く発生しています。子どもの安全確保を図り保護者の安心感醸成のため、平成23年度から全小中学校で携帯電話を利用した緊急配信メールシステムを導入しています。

◇各小学校では、ボランティアによるスクールガードが児童の交通安全のため登下校時に見守りをしていますが、ボランティアが高齢化しています。

◇次世代を担う子どもたちが、心身共にたくましい人間に成長できるよう、豊かな人間性と確かな学力、健康、体力の徳・知・体をバランスよく育てる必要があります。

## 課 題

- ◇生きる力ー徳・知・体のバランスがとれた力と豊かな人間性の醸成
- ◇快適で安全な教育環境の整備
- ◇小・中学校、高等学校、家庭、地域の連携強化
- ◇中高一貫教育の継続と支援
- ◇特別支援教育の充実
- ◇スクールバスの計画的な更新
- ◇放課後児童クラブの充実

## ◆施策目標◆

項 目	現 状	目 標 (H28)
県立田口高等学校への進学者	61.5% (5か年平均)	70.0% (5か年平均)

## 施 策

- (1) 生きる力ー徳・知・体のバランスがとれた力と豊かな人間性の醸成
  - 自らを律し、他人と協調し、他人を思いやる心や感動する心を持つ豊かな人間性を育むことを主眼とし、併せて、基礎的な知識・技能を身につけ、それらを活用し自ら考え判断し様々な問題に対応し解決する力をつける教育を行います。
  - 持続可能な社会をつくることの重要性、情報の活用と情報モラルの重要性、エネルギー問題や環境問題など時代に対応した教育を充実します。
- (2) 食育の推進
  - 食生活の改善により子どもたちの心身の健全な発達や生活習慣病予防につなげるため、家族で食べることや朝食を必ずとることの大切さを教えます。
  - 地元で取れた農産物を学校給食へ積極的に取り入れ、食べることを通して、郷土に対する愛着や誇りを持つことを目指す情操教育を推進します。
- (3) 快適で安全な教育環境の整備
  - 児童・生徒数が減少する中、適切な学校運営に努めます。
  - 学校施設や設備の修繕や更新を計画的に推進します。
  - 児童生徒の安全確保、保護者への確実な情報伝達のため、緊急配信メールシステムの運営を継続するとともに、学校の利便性が向上するシステムの導入を検討します。
- (4) 小・中学校、高等学校、家庭、地域の連携強化
  - 町づくりを進めるためには、学校教育や社会教育を中心とした人づくりが重要であるという認識のもと、家庭や地域との連携を強化し現存の小学校を核とした地域づくりを進めます。
  - いじめや不登校等の心の問題への対応や、連れ去り防止等の子どもの安全確保を、学校、家庭、地域と連携しながら推進します。

- 「放課後児童クラブ」を維持するとともに、保護者の多様なニーズに対応できるよう、適正な受け入れ体制を整備していきます。
- スクールガード活動の充実と人材確保を学校に働きかけます。
- (5) 中高一貫教育の継続と支援
  - 設楽中学校、津具中学校と愛知県立田口高等学校との中高一貫教育を継続し、地域の特色を活かした教育を進め、地域に根ざした人材育成に努めます。
  - 保護者等に中高一貫教育の情報提供をより一層行うとともに、生徒や教師の交流活動充実のために関係機関に働きかけるなどの支援を行います。
- (6) 特別支援教育の充実
  - 障害のある子どもには、一人一人の障害の状態に応じた指導を工夫するとともに、特別支援教育支援員を配置しきめ細やかな支援を行い、特別支援教育の充実を図ります。
  - 学校の要望に添った特別支援教育支援員の配置を継続するとともに、専門研修により支援員の資質向上を図ります。
- (7) スクールバスの計画的な更新
  - 児童生徒の推移をみながら、スクールバス車両を計画的に更新していきます。

児童生徒数の推移

単位：人

	平成 13 年度	平成 18 年度	平成 23 年度	平成 28 年度
小学生	334	262	215	158
中学生	200	167	140	105
計	534	429	355	263

(出典：「学校基本調査」文部科学省（各年度 5 月 1 日現在）平成28年度のみ推計)

### 3) 青少年の健全育成

#### 現 況

- ◇少子化が進行し、携帯電話やインターネットの情報機器が進歩する中で、家庭や地域における教育力の低下や社会環境の変化に伴い、いじめの問題やコミュニケーション能力の不足によるすれ違い、自己中心的な言動による周囲への迷惑など青少年のモラル・マナーの低下が社会的問題となっています。
- ◇津具地区においては、従来から家庭教育推進協議会によるボランティア活動や文化活動を実施しています。
- ◇青少年の健全育成には、学校だけでなく家庭や地域の協力とそれぞれの役割を果たすことが強く求められています。

#### 課 題

- ◇家庭・地域・学校の連携による青少年の健全育成
- ◇小学校又は中学校単位による家庭教育の推進

## ◆施策目標◆

項 目	現 状	目 標 (H28)
家庭教育推進の体制づくり(津具地区を除く)	—	平成26年度

## 施 策

### (1) 家庭教育機会の拡充

- 学校と連携して家庭教育に関する学習機会の拡充を図ります。
- 小中学校の協力を得て津具地区を除く各小学校区における、家庭教育を推進するための体制づくりを支援します。

### (2) いじめ等に対する相談体制の拡充

- 学校や保健センターと連携していじめ、不登校問題等、青少年に関する相談体制を拡充し、状況に応じた支援を行います。
- 各中学校及び田口小学校に配置されているスクールカウンセラーの活用を図るとともに、スクールカウンセラーを全ての小学校に配置するよう県に働きかけていきます。

## 4) 生涯スポーツの振興

### 現 況

- ◇子どもから高齢者まで幅広い年代層で、身近なスポーツに取り組むようになっていきます。
- ◇設楽町体育協会には、平成23年度現在10団体が加入しており、軟式野球・硬式及び軟式テニス・ゲートボール・バレーボール・弓道・剣道・インディアカの各種スポーツ活動を行っています。殆どの団体が年間を通して練習を行い、各種大会に参加しています。また、少年野球クラブ、少年サッカークラブも独自の活動を行っています。こうしたスポーツ団体も新規会員が少なく、会員数の減少が問題となっています。
- ◇近年グラウンドゴルフが定着し、競技人口が増加するとともに各種大会への参加人数も増加しています。
- ◇夜間・休日等、学校教育に支障のない範囲で学校の体育館等が開放されており、スポーツ活動の場として利用されています。
- ◇役場新庁舎建設の造成工事に伴い廃止となった田口スポーツ広場に代わる施設の整備が求められています。
- ◇町内の社会体育施設の中には十分活用されていない施設があります。

#### 社会体育施設の利用状況

(平成22年度実績)

施 設 名	利用人数	施 設 名	利用人数
名倉スポーツ広場(夜間照明含む)	8,074人	田峯弓道場	144人
津具スポーツ広場	1,192人	スイスイパーク	10,790人
田口テニスコート	10,349人	ふれあい広場屋内コート	3,031人
洲山運動広場	669人	ふれあい広場屋外コート	4,545人
清嶺夜間照明	160人	つぐグリーンプラザ	6,514人
田口弓道場	754人	計	46,222人

## 課 題

- ◇指導者の資質の向上と人材の確保
- ◇スポーツ競技人口の確保
- ◇体育施設の適正な管理
- ◇社会体育施設の利用率向上
- ◇新たなスポーツ広場の整備
- ◇新たなスポーツ種目の構築

### ◆施策目標◆

項 目	現 状	目 標 (H28)
生涯スポーツ参加者数	年1,303名	年1,500名
スポーツ施設利用者数	年46,200名	年48,000名
スポーツ広場の整備	—	田口地区に1カ所

## 施 策

### (1) 生涯スポーツの実施

- 各年代のニーズにあわせた生涯スポーツ活動の普及を図り、各種スポーツ大会・教室等を通じて、スポーツの振興に努めます。
- ソフトボール大会・グラウンドゴルフ大会・ニュースポーツの大会・町民体力テスト・とことんふるさとウォーキング・ウィークエンドサークル・スポーツサークル等を引き続き実施し、スポーツの振興を図ります。
- 誰もがいつでも気軽に参加できるスポーツ環境の充実に努めます。

### (2) 公共施設の積極的活用

- 各種スポーツ大会・教室の会場として、スイスイパーク、つぐグリーンプラザプール、テニスコート、グラウンド等を積極的に活用するとともに、利用状況等の情報発信を行い利用率の向上に努めます。

### (3) 各種団体との連携

- スポーツ団体を育成するとともに、体育協会・スポーツ少年団との連携強化を引き続き図ります。また、町内スポーツ団体の活動の場として、学校開放を積極的に行います。

### (4) スポーツ競技人口の確保

- 体育協会加入団体やスポーツ活動を行っている団体の活動状況などの情報提供を行い、新規会員の発掘と加入促進に努めます。

### (5) スポーツ広場の整備

- 田口地区のスポーツ広場を住民の要望を踏まえて新たに整備します。

## 5) 地域文化の継承と創造

### 現 況

#### 〈文化財の保護〉

- ◇文化遺産の保護は、奥三河郷土館及び津具民俗資料館等を中心に、歴史的資料等の収

集・保存・展示に努めていますが、施設の老朽化とともに収蔵品の増加に伴い展示スペースが手狭になっています。

◇若者の流出と高齢化により、無形民俗文化財の伝承者・後継者の不足が切実な問題となっています。

◇鞍船遺跡など周辺道路や案内看板の整備が必要な場所があります。

◇とことんふるさとウォーキング等の生涯学習講座を通して、健康増進と自然保護意識のかん養を図っています。

#### 〈文化活動の推進〉

◇設楽町文化協会は、平成23年度現在30団体で構成されており、書道・民謡・大正琴・短歌・写真・手芸・コーラス・舞踊など多種多様な団体が加入しています。主な活動としては、定例会や月例会、各種大会や展示会への参加・出展、福祉施設等への慰問などを行っています。また、町民文化祭に殆どの団体が参加・出展するなど、文化活動に積極的に取り組んでいますが、会員の高齢化と新規会員が少ないことが問題となっています。

◇町民文化祭や各種イベントを開催し、広く住民に芸術・文化と接する機会の拡充に努めています。

## 課 題

#### 〈文化財の保護〉

- ◇歴史民俗資料館等の建設
- ◇無形民俗文化財後継者の育成及び助成
- ◇文化財、案内看板及び周辺の整備
- ◇設楽町の文化・自然の啓発

#### 〈文化活動の推進〉

- ◇文化活動継承者の育成及び助成
- ◇活動拠点の確保及び整備

## ◆施策目標◆

項 目	現 状	目 標 (H28)
文化クラブ数	30団体	31団体
歴史民俗資料館等の建設	—	平成28年度

## 施 策

#### 〈文化財の保護〉

##### (1) 歴史民俗資料館等の建設

- 奥三河郷土館、津具民俗資料館、文化資料展示センターに収蔵されている貴重な資料を適正に保存・管理するとともに、町内外へ情報発信する施設として歴史民俗資料館（仮称）を清崎地区に建設します。

##### (2) 指定文化財保護事業

- 伝承事業及び後継者の育成を支援するとともに、各種団体の協力を得て伝承行事

等の記録保存に努めます。

(3) 文化財、案内看板及び周辺の整備

○遺跡や史跡などの文化財周辺及びアクセス路などの整備を進めます。

○破損又は未設置である文化財の案内看板を整備します。

(4) 文化財図書の発刊

○「土雛写真集」等の発刊及び資料図書の復刻を行います。

〈文化活動の推進〉

(1) 文化活動事業

○町民文化祭を継続して実施します。

○文化協会の育成・強化を引き続き支援します。

○文化協会加入団体や文化活動を行っている団体の活動状況などの情報提供を行い、新規会員の発掘と加入促進に努めます。

## 6) 交流活動の推進

### 現 況

〈国際交流の推進〉

◇小学校高学年での外国語授業の必須化及び中学生の英語能力の向上のために、平成20年度から外国語指導助手（ALT）1名を受け入れています。

◇小学校においては、新学習指導要領の実施に伴い、英語学習及び国際理解学習に取り組んでいます。

◇国際的視野・国際感覚を育むとともに、郷土を振り返り自分の未来を考える契機として、町内の中学3年生全員を対象とした海外派遣事業を行っています。

〈他市町村との交流〉

◇豊橋市、蒲郡市、田原市との間で上下流域交流事業を定期的に行っており、それぞれの地域の特性を活かした交流が行われています。

◇下流域自治体の中には、具体的な交流事業が進んでいない市もあります。

### 課 題

〈国際交流の推進〉

◇多文化共生意識のより一層の向上

◇新たな国際交流活動の展開

〈他市町村との交流〉

◇交流が果たす役割の再認識と、新たな地域の特性の再確認

◇より多くの近隣市町村との交流

◇地域住民が主体となった、地域に密着した交流の実現

### ◆施策目標◆

項 目	現 状	目 標 (H28)
交流市町村数	3市	5市町村

## 施 策

### 〈国際交流の推進〉

#### (1) 国際交流活動の推進

- 充実した国際交流事業を進めるとともに、効果的な施策により地域住民の国際化意識の高揚に努めます。
- 町内のみならず対外的な国際交流活動にも積極的に取り組んでいきます。
- 民間が主体となって取り組んでいる交流事業についても支援協力していきます。

#### (2) 地域住民を巻き込む国際交流

- 中学生海外派遣事業を継続発展させ、例えばインターネットを利用した授業交流など、新たな方策を検討します。
- 中学生海外派遣事業先であるイリノイ州アーリントンハイツ村への住民派遣事業の実施に向けた調整を進めます。

### 〈他市町村との交流〉

#### (1) 他市町村との積極的な交流と情報発信

- 町の特性を見つめ直すことにより新たな特性をつくり上げ、それを他市町村へアピールしていきます。
- 数多くの交流を行い、他市町村の特性を町の活性化に活かしていきます。
- 地域住民が主体となった交流を促進し、人と人とのつながりを深めるよう努めます。
- 婚活交流イベント等多様な交流のあり方を検討します。